

平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)

- <今月のコラム> ・カンショにおけるヒルガオハモグリガの被害について
・ナスミバエの防除対策について
・この夏の予報

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/documents/ineyo-phero.html>

今月のピックアップ

アオドウガネ (さとうきび)

学名 : *Anomala albopilosa*



生態と被害

本種成虫の発生時期は沖縄本島で6~8月、宮古・八重山で5~7月であり、雌成虫は摂食開始10日前後で産卵を開始し産卵する。成虫の主な寄主植物はリュウキュウコクタン(クロキ)、テリハクサトベラ、ノニ、ガジュマル、オキナワキョウチクトウであり、集団を形成し葉を加害する。成虫の雌雄は前脚先端の爪で判別できる。おおむね8~11月が1~2齢幼虫期で、11月下旬~翌年1月が最も摂食が旺盛な3齢幼虫期である。そのためさとうきびへの被害は収穫直前から収穫期にかけて多く見られる。

被害ほ場で株出ししない場合は収穫後すみやかに碎土を行う。地域全体で被害が見られる場合はライトトラップを用いて大量誘殺を行う。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>